

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572007839		
法人名	医療法人寿光会		
事業所名	ぐるーぷほーむ「こさか」		
所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂字上前田16-11		
自己評価作成日	平成29年10月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団		
所在地	秋田市御所野下堤五丁目1番地の1		
訪問調査日	平成29年11月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在、入居者様が偶然にも女性だけになっております。個人的に好き、嫌いはあるものの、皆さん仲良く過ごされております。職員が声をかけなくても、自然に歌をうたったりして、とても楽しそうに過ごされています。行事では、アカシア祭に参加したり、夜の七夕祭りを見に出かけております。その際に、ご家族様にご協力頂きながら、一緒に楽しむ環境を作れていると思っております。地域との交流も避難訓練に参加して頂いたり、地域で行なっている青空市から野菜を購入させて頂いております。近くの保育園児が、散歩で立ち寄って下さったりしています。職員は、毎月の目標を立て入居者様が安全に笑顔で過ごせるように頑張っています。夜間入浴を行い、自宅での生活スタイルを維持できるようにして頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

皆さんに笑顔でいて欲しいと「一日一笑」の理念をもとに、より具体的に毎月目標を立て、実践、反省を積み重ねている事業所である。地域の方の出入りも多く、窓ふきや草取りの手伝い等、日常的な交流が行われている。開設してから年月も経ち、職員も利用者も長い付き合いとなり、信頼関係が構築され、家族の意見も気軽に出るようになってきている。重度化してきて出来なくなってきたこともあるが、そこで諦めず、今自分たちが出来ることを話し合い、利用者の為に実践している事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「支えあい、認め合い、安らげる生活の場」を開設当初からの理念としており、その上で毎月の目標を決め実践につなげています。	開設当初からの理念を基本に、職員で話し合い「一日一笑」という理念を作り上げた。また、今年度から毎月、自分達の足りない所を考え、具体的な目標を設定し、実践、反省を行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り、上小坂の川掃除や、たんぼ会に積極的に参加している。また、避難訓練や夕涼み会にも参加して頂いたり、野菜を購入させて頂いています。	町内の行事には職員と利用者が参加している。七夕まつり等には、車いすの利用者も参加し、皆で楽しんでいる。施設内の避難訓練や夕涼み会の案内を出し、町内の方が参加してくれている。会館の窓ふきなど、住民の一員として地域活動に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	避難訓練時等にご協力頂いた時にどのように接すればよいか毎回伝えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様のことを報告し、外部評価があった時など結果を報告しています。市町村、入居者様のご家族、地域の方の貴重な意見を取り入れサービスの向上につなげています。	水害の避難訓練の際に、家族が近隣に住んでいる利用者は自宅に帰る等、家族の協力のもと行ってみたが、家族に協力してもらうことに対し、契約が必要ではないか等、活発な意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議へ参加して頂いたり、何かあれば包括に相談をさせて頂いています。鹿角市のグループホームの会議にも参加させて頂いて、意見交換、情報交換を行なっています。	隣の土地の草取りについて相談したり、入居者の退却時や入院時の相談をしたりと、相談しやすい関係となっている。また、近隣の自治体のグループホーム会議にも参加し、4週間の実践報告をまとめ、実践発表会で発表する等、積極的に連携を強める努力をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	やむを得ず玄関の施錠をすることがありますが、長時間はしていません。センサーを利用し事故防止をしています。	職員の人員不足により、玄関を施錠することはあるが、なるべくセンサーで対応し、常時施錠しないよう工夫している。また、研修も年間計画に組み込み、定期的に行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修会に参加しています。新しくできたアザ、傷などのようにできたのか追求し、適切な処置を行なっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	勉強会があれば参加しています。利用されている入居者様を通しながら、少しずつ理解できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者がその都度、説明しています。不安や疑問をよく伺い説明させて頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やご家族様の面会時にご意見を伺ったり、玄関に意見箱を用意しています。	家族の面会時や、毎月のお手紙で近況を伝え、ケアプラン更新時には今後についての意見を確認している。また、家族から他者との面会を控えて欲しいとの要望や、受診時に変化がありそうな時は教えて欲しいとの意見に対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどで意見を出し合い、何かあれば上に報告、相談し対応して頂いています。	避難経路にスロープや手すりの設置、風呂場には手すりや段差解消のための台を設置する等、利用者の状況に合わせた改修について話し合い、対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職員が働きやすい職場環境、整備に努めて頂いています。管理者は職員の努力を伝えています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会に参加させて頂いています。研修案内を掲示し、希望者を募っています。働きながら、研修を受けられるよう配慮を行なっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿角市のグループホームの会議で情報交換ができています。また、全職員が参加できる研修会もあり、交流ができています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談、ホームを見学して頂いた際、不安ごとや要望をできるだけ伺い、ご本人が安心出来る生活を送ることができるようにしています。また、情報を共有し同じサービスができるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様がこれまでがんばってこられたことを受け止めご意見やご要望を伺い、協力しあえる関係を築いています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事作業をしながら心配して頂いたり、暮らしを共にしている同士の関係を築いています。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報交換を密にし、面会に来られた際には、より細かい日常の様子を伝えながら、ご家族様に御協力して頂き、ご本人を支える関係を築いています。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様のご協力のもと、で墓参り、馴染みの床屋利用や自宅への外泊など、可能な限りご本人の希望に沿った支援を行なっています。	以前は受診の帰りに買い物やドライブと、その人の思いに沿った外出を心掛けていたが、利用者の重度化と人員不足の為、難しくなっている。庭に出てお弁当を食べたり、歌を歌ったりと、今自分たちが出来る支援を考え実践している。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に会話できるように支援したり、性格の合わない方同士にはその間にはいり、未然にトラブルを防ぐなど対応しています。		
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話の中でご本人より聞き取り、その思いに沿えるよう努めています。又、日常生活の行動からも理解できるよう努めていたり、ご家族様から伺い意向に沿った支援を行なっています。	普段の生活の中での動作や仕草で思いや意向を拾い上げ感じ取り、ケアに努めている。また、夜勤時や入浴時に、ゆっくり個々に話をし、思いを把握している。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報、ご家族様からの情報等を把握し理解するよう努めています。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや、最近の状態について連絡ノートから把握し一人一人の本日の状態を反映したケアになるよう努めています。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当を決め意見を出し合い、ミーティング等でも話し合い入居者様、ご家族様より意見を伺い介護計画を作成しています。	毎月のミーティングの時に一人ひとりの状況を報告し合い、モニタリング時は用紙を職員全員に配布し、意見を求め介護計画に反映させている。作成した計画は職員全員が目を通し、捺印して共有し、サービスを実践している。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	モニタリング、連絡ノートに気づきや工夫を記入し、職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに生かしています。		
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	鹿角市のサービスを利用しながら支援を行なっています。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、入居者様、ご家族様の希望を尊重しています。かかりつけ医、薬局が変更の際には相談して決めています。	入居者、家族の希望に沿った受診が行われており、職員が付き添っている。また、離れた病院の場合は、家族の協力のもと行っているが、家族が同行できない場合は、受診介助を委託し、希望の医療を受けられるよう配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に訪問する(医療連携契約)看護師に一人一人の状態を報告しています。又、受診の相談や受診時の助言を得ています。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院関係者との情報交換に努めています。緊急時に対応できるよう総合病院と契約をしています。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時のケアプラン説明時、その都度のケアプラン説明時、今後について話し合いを行なっています。法人内に医院及び老健があり重度化、終末期を迎えた入居者様、ご家族様に対して法人としての取り組みを説明し連携を図りながら対応しています。	入居時に、重度化や終末期の看取りは行わない方針であることを説明している。法人として出来る事、出来ない事を説明し、他の関係機関と連携を図り、対応している。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行なっていませんが、消防職員を講師に招き、救命救急勉強会を行いました。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や自治会の近所の方のご協力を仰ぎながら、年2回の訓練を実施しています。	夜間の避難訓練の実施を目標にしていたが、利用者が落ち着かないこともあり、未実施となった。夜間想定避難訓練は行っており、地域との協力体制は出来ている。	避難訓練時の対応について、地域の方からの実直な意見も出されており、改善・工夫につながることに期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに関することが他入居者様に知られないよう言葉かけ等注意しています。	トイレの時や自分でご飯が食べられなくなってきた時、入浴時の衣服たたみに時間がかかっている時など、声掛けに気を付けて、利用者が出来る事は行ってもらよう配慮している。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣服やおやつを選択等、簡単なものではありませんが、自己決定を促しています。また、入居者様の意見も大事にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	支援に努めています生活リズムが崩れない程度に起きる時間を遅くしたり、眠ければやすめるようにしています。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	「その人らしさ」を心がけています。本人にも朝を選んで頂いています。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを取り入れ献立表を作成しています。茶碗ふき、テーブル拭き、野菜の下ごしらえを手伝って頂き、一緒に行う環境を作っています。	利用者の状況に合わせ、食事の準備や後片付けを会話しながら手伝ってもらっている。また、食卓中も利用者と職員の会話が弾んでおり、楽しく食卓を囲んでいた。誕生会の時は手作りのケーキが準備されたり、ひな祭り等、行事食の機会を作り、喜ばれている。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事はご本人に合わせて対応しています。水分量も確保できるよう、トロミなどを利用したり、残されている時は声掛けし飲んで頂いています。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に対応し拒否があった時は時間をおいて対応するなどをしています。		
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	職員間で排泄時間を共有し仕草等にも見配りしながら支援しています。オムツも本人の状態に合わせた使用を行なっています。	排泄動作は出来るが、場所の理解が出来ない方の行動を観察し、適切に声掛け・誘導を行っている。また、夜間はポータブルトイレを使用したり、個々の状態に合わせた排泄介助が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じてヤクルトやヨーグルトを食べて頂いています。水分もなるべくたくさん摂って頂けるよう働きかけています。どうしても、出ない時はDr.に相談し下剤の利用もしています。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は、夜と決めています。拒否が多い入居者様に対して時間を早めたりして対応し入って下さるよう、促しています。できない時は足浴や清拭を行なっています。	ゆっくり眠れるよう、開設当時から夕食後に入浴しており、自宅にいた時と同じリズムで生活できるよう配慮している。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるよう寝巻への更衣、ベットメイキングや、室内の温度を気にかけて、快適に休んで頂けるよう支援しています。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についてわからないことは調べたり(医療連携)看護師、かかりつけ医、薬局へ相談したり、理解できるよう努めています。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合った支援を心がけています。祭に出かけたり行事で慰問を受け入れたり、楽しみ事の支援を行なっています。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	出来るだけ希望に沿えるよう努めています。他施設にいらっしゃる旦那様に会いにいたり、又お祭りに出かける際にはご家族様からご協力を頂いています。	公園の桜が綺麗だが、寒いため、車から降りずに楽しんだり、重度化や職員不足により、以前より少なくなりましたが、近所への散歩等、現在出来る事は何かを考え実践している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルの原因になりやすい為お金の所持は、ご家族様管理の上でとすることにさせて頂いています。入居者様の希望の物は「立て替え」で処理、購入させて頂いています。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様より電話があった場合、ご都合がよければご本人とお話をして頂いております。自ら、電話をかけたいと訴える方はいらっしゃらないが、もし希望がある時には添えるようにしています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を保ち、入居者様、来訪者様が不快にならないよう努力しています。また、季節がわかるように掲示物を掲示しています。	和室があり、そこで昼寝をしたり、自由に過ごしている。廊下の壁には利用者が自由に掃除が出来るよう、ほうき等掃除道具がかかっている。また、掃除担当の職員も配置しており、細かい所も掃除が行き届いている。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気に入ったところで過ごせるように、ソファをホール、廊下においてます。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の自宅で使っていたものを持って来てくださるようご家族様よりご協力をして頂いております。	テレビやソファ、テーブル等、本人が使っていた家具を持ち込んでいる。家族が写真を持って来て飾っている部屋や、遠方に住んでいる娘さんから届いた花束をドライフラワーにして飾っている部屋等、個々に特徴がある。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前の名札トイレなどわかりやすく掲示しています。		